

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	政策 主管課	文化財課	政策主管 課長名	酒井 宗孝
	政策の方針	市内の芸術文化を振興させるためには、市民が地域の歴史や文化、先人の理解を通じ、芸術文化に親しむことのできる環境づくりが必要です。 そのために、身近な場所で芸術文化にふれることができる機会を拡充するとともに、先人を顕彰し、その功績が理解されるように取り組みます。また、文化財の適切な保護や活用を図るとともに、地域に伝わる民俗芸能の伝承を支援します。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35	
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
この1年間に芸術文化活動を行った市民の割合	芸術文化に親しみ、深い知性を持ち心豊かな市民となるため、具体的行動として芸術文化活動を行っている市民の状況を示す指標	出展：花巻市(市民アンケート)問：あなたは、芸術文化の活動をどの程度おこなっていますか。 (1)週に2回以上 (2)週に1回程度 (3)月に1回程度 (4)年に数回程度 (5)ほとんど行っていないのうち、(5)以外を選択した市民の割合	%	目標値	25.1	27.0	28.5	30.0	40.0	
					25.1	21.9	21.0	-		
この一年に芸術鑑賞をした市民の割合	芸術文化に触れ(芸術鑑賞)、親しんでいる市民の状況を示す指標	出展：花巻市(市民アンケート)問：あなたは、昨年1年間に市内外を問わず芸術文化の鑑賞にどの位足を運びましたか。 (1)10回以上 (2)5~9回 (3)1~4回 (4)0回のうち(1)(2)(3)を選択した市民の割合	%	目標値	64.8	67.0	68.5	70.0	80.0	
					64.8	65.0	66.3	-		
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	地域の歴史や文化、先人など普段暮らしている地域・郷土に対する市民の誇りと愛着度を示す指標	出展：花巻市(市民アンケート)問：あなたは、郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っていますか。 (1)持っている (2)どちらかというど持っている (3)どちらかというど持っていない (4)持っていない (5)どちらともいえないのうち(1)(2)を選択した市民の割合	%	目標値	66.2	66.5	67.0	67.5	70.0	
					66.2	62.5	66.8	-		
達成度	[達成状況に関する背景・要因]									
C	芸術文化活動を行った市民の割合は減少した。これは、参加者の固定化と高齢化が原因の一つと考えられる。目標値にはわずかに達しなかったが、市民の芸術鑑賞の割合と郷土の歴史文化に誇りと愛着を持つ市民の割合は前年度を上回っている。これらの分野に対する市民の意識が高まっている表れと考えられる。									

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26		達成度	H27			H28		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値		目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	芸術文化活動の推進	市民芸術祭参加者数・入場者数(人)	13,659	14,000	12,100	c	14,000	11,112	c	15,000		↘	D
2	先人の顕彰	この一年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合(%)	29.9	32.0	32.6	a	34.0	30.0	c	36.0		↘	C
		日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合(%)	59.6	62.0	58.1	b	64.0	63.0	b	65.0		↗	
3	文化財の保護と活用	この一年間に博物館等市内の文化財施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合(%)	24.0	26.0	22.3	c	29.0	20.5	c	32.0		↘	D
4	民俗芸能の伝承	郷土芸能団体数(団体)	96	96	96	a	96	96	a	96		→	A

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C-④	市民芸術祭への参加人数と先人顕彰施設、博物館の企画展への入場者は減少した。要因としては、芸術祭参加者の固定化や高齢化、展覧会・講座・体験学習への興味・関心の下降等が考えられる。
遅れている	しかし、出前授業や講座は回数、参加人数とも増加しており、小中学校や子供会、地区コミュニティとの連携した事業の展開に期待が持てる。 青年会議所等との連携により、若い世代へのPRに努める。

成果指標達成度	A				
	B				
	C	☆			
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

施策名	芸術文化活動の推進	施策の成果指標の達成状況	H26	D	H27	D
1	<p>施策名 芸術文化活動の推進</p> <p>施策の成果指標の達成状況 H26 D H27 D</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術団体等から市民が気軽に芸術に触れられるような場所が求められている。 ・芸術活動への参加者が固定化、高齢化している。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民芸術祭等に高校生・大学生が参加できるように、各団体と協力しながら進めるとともに若者に対する周知を図っていく。 ・子ども向けの芸術文化に関する講座等の充実を図る。 ・文化会館の改修に向けて検討する。 					
2	<p>施策名 先人の顕彰</p> <p>施策の成果指標の達成状況 H26 B H27 C</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治以外の先人を紹介する機会を設ける必要がある。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展や広報活動等で先人を広く紹介していく。 ・地域の先人の遺品、史跡等を地域と協働で活用していく方法を検討する。 					
3	<p>施策名 文化財の保護と活用</p> <p>施策の成果指標の達成状況 H26 C H27 D</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに体験学習を通じて文化に触れる機会を提供できたが、利用者が限定されている傾向が見られた。 ・市民を対象とした展示、講座、体験学習等の事業を実施する場合、ニーズや周知方法等を検討する必要がある。 ・入館者数が減少した。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻城跡の調査研究の一環として、二の丸跡の内容確認調査を行うとともに、三の丸武家屋敷を取得し保存・活用することにより、市民に地域の歴史についての興味と感心を喚起する。 ・市指定有形文化財「熊谷家」の床・屋根の改修を行い、古民家活用事業の充実を図るとともに多様な活用事業を検討する。 ・資料を持参した出前講座の開催など学習機会の手段についてさらに検討する。 ・市民を対象とした事業(展示会・講座・体験学習)について、ニーズの掘り起こし方法や参加しやすい環境づくりについて検討する。 ・数年に一度は市民ニーズに合ったテーマの規模の大きな展示会を開催する。 					
4	<p>施策名 民俗芸能の伝承</p> <p>施策の成果指標の達成状況 H26 A H27 A</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各郷土芸能団体と連絡体制が整っていない。 ・郷土芸能団体から道具代や衣装代、大会出場費について補助制度創設要望がある。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市郷土芸能保存協議会や各地区芸術文化協会等と連絡体制を構築する。 ・花巻市郷土芸能保存協議会等関係団体から各郷土芸能団体の活動状況や後継者の有無、費用、要望などを調査し、効果的な支援策を検討する。 ・古民家活用事業として年に2回神楽演舞を行っている、花巻市指定有形文化財「熊谷家」を改修し、事業の充実を図るとともに多様な活用策を検討する。 ・民俗芸能各公演会の集客を増やすため、市民へのPRに努める。 					